

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : GC/MSデモ用混合標準液
会社名 : 関東化学株式会社
住所 : 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-11-5
担当部門 : 試薬事業本部 技術部 企画資料課
電話番号 : (03) 3639-8301
FAX番号 : (03) 3639-9435
メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp
整理番号 : S0145

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2
自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)
: 区分外
皮膚腐食性・刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性
: 区分2A

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

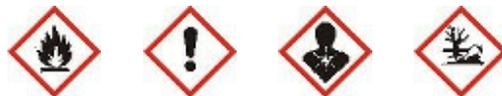
: 区分1、 区分3(気道刺激性)、 区分3(麻酔作用)

吸引性呼吸器有害性 : 区分1

環境に対する有害性

水生毒性(急性) : 区分1
水生毒性(慢性) : 区分1

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 引火性の高い液体および蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
中枢神経の障害
呼吸器への刺激のおそれ
眠気およびめまいのおそれ
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

- : 熱、火花、裸火などの着火源から遠ざける。
- 容器は密閉する。
- 移送、攪拌する場合は、容器および受器をアースする。
- 防爆型の機器を使用する。
- 火花を発生しない工具を使用する。
- 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。
- 換気の良い場所でのみ使用する。
- 環境への放出を避ける。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
- 使用後は保護具をよく洗う。
- 取扱い後はよく手を洗う。

救急処置

- : 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。
- 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
- 取り扱った後、手を洗う。
- 暴露した場合：医師の処置を受ける。
- 漏出物を回収する。

保管

- : 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。
- 施錠して保管する。

廃棄

- : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

: 混合物

化学名又は一般名

: n-ドデカン、ビフェニル、パルミチン酸メチル、2,2,4-トリメチルペンタン

成分及び含有量

: n-ドデカンを10ng/l (=0.001%)、ビフェニルを5-20ng/l (=0.0005-0.002%) およびパルミチン酸メチルを5-20ng/l (0.0005-0.002%) 含有する2,2,4-トリメチルペンタン溶液

化学特性(示性式)

: n-ドデカン $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{10}\text{CH}_3$
ビフェニル $\text{C}_6\text{H}_5\text{C}_6\text{H}_5$
パルミチン酸メチル $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{14}\text{COOCH}_3$
2,2,4-トリメチルペンタン $(\text{CH}_3)_3\text{CCH}_2\text{CH}(\text{CH}_3)_2$

官報公示整理番号

: 化審法 ; n-ドデカン 2-10
; ビフェニル 4-13
; パルミチン酸メチル 2-798
; 2,2,4-トリメチルペンタン 2-8
安衛法 ; n-ドデカン 公表
; ビフェニル 公表

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 設定されていない
A C G I H (2005年度版) ; 0.2ppm、1.3mg/m³ (ピフェニルとして) (TLV-TWA)
- 保護具
- 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防毒マスク (有機ガス用) を着用する
- 手の保護具 : 耐溶剤手袋
- 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣 (長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : ガソリン臭
- 沸点 : 99.24
- 融点 : -107.37
- 引火点 : -12.2
- 発火点 : 530
- 爆発持性
- 爆発限界 : 上限 : 6.0vol% 下限 : 1.1vol%
- 蒸気圧 : 670hPa(25.3)
- 蒸気密度 : 3.9
- 密度 : 0.69g/ml (20)
- 溶解性
- 溶媒に対する溶解性 : 水 ; 不溶
有機溶媒 ; エタノール、クロロホルム、ジエチルエーテル、ケトン類に可溶
- その他のデータ : 粘性率 : 0.504cP(20)

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常条件で安定である。
- 反応性 : 酸化剤と接触すると反応することがある。
- 避けるべき条件 : 日光、熱
- 混触危険物質 : 酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 2,2,4-トリメチルペンタンの高濃度の蒸気は麻酔作用があり、蒸気を吸入すると鼻、のどが刺激され、頭痛、めまい、悪心などを起こす。
- 皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚に対して刺激性がある(区分2)
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼に対して強い刺激性がある(区分2A)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

- : データなし
- 生殖細胞変異原性 : データなし
- 発がん性 : IARCおよびNTPのリストに記載されていない。
- 生殖毒性 : データなし
- 特定標的臓器・全身毒性 - 単回暴露
 - : 中枢神経の障害(区分1)
 - 呼吸器への刺激のおそれ・眠気またはめまいのおそれ(区分3)
- 特定標的臓器・全身毒性 - 反復暴露
 - : データなし
- 吸引性呼吸器有害性 : 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ(区分1)

12. 環境影響情報

- 生態毒性
 - 魚毒性 : 水生毒性(急性) 水生生物に非常に強い毒性(区分1)
 - 水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性(区分1)
- 残留性/分解性 : データなし
- 生態蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動性 : データなし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
- 容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

- 国内規制
 - 消防法 : 危険物第4類引火性液体第1石油類非水溶性液体
 - 道路法 : 施行令第19条の13(通行制限物質)
 - 船舶安全法 : 危規則第3条危険物告示別表第1引火性液体類
 - 航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1引火性液体類
- 国連分類 : クラス3(引火性液体)等級
- 国連番号 : 1262
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。
- 緊急時応急措置指針番号 : 128
- 海上規制情報
 - UN No. : 1262
 - Proper shipping name : OCTANES
 - Class : 3
 - Sub risk : -
 - Packing group :
 - Marine pollutant : Not applicable

航空規制情報

UN No. : 1262
Proper shipping name : Octanes
Class : 3
Sub risk : -
Packing group :

15. 適用法令

消防法 : 危険物第4類引火性液体第1石油類非水溶性液体 (200L)
化学物質管理促進法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 施行令別表第1危険物 (引火性の物)
施行令第18条の2名称等を通知すべき有害物 (政令第116号)
海洋汚染防止法 : 施行令別表第1有害液体物質 (X類)
船舶安全法 : 危規則第3条危険物告示別表第1引火性液体類
航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1引火性液体類
港則法 : 施行規則第12条危険物告示引火性液体類

16. その他の情報

引用文献
有機化合物辞典、有機合成化学協会編、講談社 (1985)
溶剤ハンドブック、浅原照三 他編、講談社 (1976)
Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N.I.Sax他編
Van Nostrand Reinhold Company (1984)
14906の化学商品、化学工業日報社 (2004)

*この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。